

愛玩動物看護師法制定・動物愛護管理法改正記念祝賀会が開催される

令和元年8月1日、明治記念館 富士の間において一般社団法人日本動物看護職協会、公益社団法人日本獣医師会、全国動物保健看護系大学協会及び一般社団法人全国動物教育協会の主催により「愛玩動物看護師法制定・動物愛護管理法改正記念祝賀会」が84名の国会議員をはじめ、多数のご来賓にご臨席をいただき合計279名の来場者を得て華やかに開催された。

令和元年6月21日、「愛玩動物看護師法」が参議院本会議で成立し、本会が長年にわたり取り組んできた、愛玩動物看護師の国家資格化が実現した。また、それに先立ち、6月12日、「動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律」が参議院本会議で成立し、販売用の犬猫についてマイクロチップの装着・登録が義務付けられた。

両法律の成立により飼育者のニーズに対応し得るチーム獣医療の確立と、マイクロチップによる犬猫の個体識別による飼い主等の判別、飼い主責任の明確化等、獣医療及び動物愛護領域における一層適正な業務運営が実現することとなった。

そして、これまで両法律の成立に尽力いただいた政党や超党派の議員連盟の国会議員の先生方、関係の団体及び業界の皆様方への労いととも、念願であった両法律成立を関係者で祝うため、本祝賀会が開催されるに至った。

祝賀会では、まず、主催者代表挨拶として、横田淳子一般社団法人日本動物看護職協会会長から、愛玩動物看護師は、愛玩動物看護師法の制定により新たな時代を迎える一方、動物愛護管理法の改正においても小さな命をもつ動物の最も身近な存在となり、その代弁者として飼育者に助言等を行い、社会において動物を守る立場となる。協会は、職能団体としてこれからの動物看護師の発展に向け、真摯に向き合っていきたい旨、次に山崎薫動物看護師国家資格化推進委員会委員長から、われわれは業務独占という大義を心に留め、動物看護師が自立して社会で活躍できる資格となるよう更なる動物看護教育に邁進したい旨、続いて下藪恵子同委員会副委員長から、今、われわれはスタート地点に立ったところであり、さらに高位で質の高い教育に挑戦し続け、期待される愛玩動物看護師の養成に努めたい旨を内容とする挨拶がそれぞれ述べられた。

さらに藏内勇夫会長から、次のとおり挨拶が述べられた。

「本日はご多忙のところ、われわれが念願であった両法律成立の祝賀会に、原田環境大臣をはじめ、衆参両院の多くの国会議員の皆様方、多くの関係官庁、関係団体

の皆様方にご出席いただき厚くお礼申し上げます。先ほどご挨拶をされたお三方をはじめ、関係者の皆様の熱意が国会議員の先生方に伝わり、真摯に取り組みいただき両法律成立に結び付いたと思っています。両法律は議員立法であることを念頭に、今後とも国会議員の皆様にご指導ご鞭撻をいただきつつ、法律の円滑な施行に取り組みたいと考えています。「人と動物の健康は一つ、それは地球の願い」、これは日本獣医師会の活動指針ですが、今回の両法律の成立が人と動物が真に共生できる社会の実現に向け大きな推進力になるものと思われま。今後とも、国会議員の皆様をはじめ、関係者の皆様からのご指導をよろしくお願い申し上げます。なお、これまで両法律の成立に際して、日本獣医師会は日本獣医師連盟とともに車の両輪となって活動してまいりましたが、同連盟の北村委員長は本日ご欠席とのことで、お集まりの皆様には是非ともよろしくお伝えしたい旨言付かってまいりました。最後に、今後とも、われわれに対する相変わらぬご指導を心からお願い申し上げるとともに、改めて皆様方のご尽力に感謝を申し上げお礼の挨拶といたします。」

次に来賓祝辞として、原田義昭環境大臣から、今後、法の施行に当たり関係省庁と連携しながら政省令の策定に努める等、しっかりと必要な準備を進めたい旨、続いて濱村進農林水産大臣政務官から、愛玩動物看護師法の成立を契機として、獣医師と愛玩動物看護師が固い結束の下でチーム獣医療体制を構築され、豊かな国民生活の充実に寄与することを祈念したい旨、さらに中村裕之文部科学大臣政務官から、来春から導入される「高等教育の修学支援新制度」も活用いただき、社会のニーズに対応し得る愛玩動物看護師が養成され、人とペットの共生する社会の推進を期待する旨を内容とする挨拶がそれぞれ述べられた。

続いて、鈴木俊一愛がん動物を対象とした動物看護師の国家資格化を目指す議員連盟会長、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣から、本法の成立には、各党の議員連盟、さらに超党派の議員連盟で検討がなされ、紆余曲折はあったものの、関係者の熱意が結集され、今回の実現に繋がったと考えている。今後、法律がその意義を発揮できるよう皆様方のお力添えをお願いしたい旨述べられた後、乾杯の発声がなされた。

乾杯の後、両法案の成立にご尽力いただいた以下の国会議員の先生方からご祝辞をいただいた。

自由民主党：内閣府特命担当大臣

片山さつき 参議院議員

山本幸三 衆議院議員

逢沢一郎 衆議院議員

鬼木 誠 衆議院議員

公明党：斉藤鉄夫 衆議院議員

高木美智代 衆議院議員

立憲民主党：生方幸夫 衆議院議員

国民民主党：代表 玉木雄一郎 衆議院議員

小宮山泰子 衆議院議員

泉 健太 衆議院議員

最後に中締めとして、酒井健夫 一般財団法人 動物看

護師統一認定機構機構長から、われわれ、統一機構は、平成23年に動物看護師の教育レベルの向上、全国統一試験の実施、資格認定、知識・技術の高位平準化を図るために設立されて以降、活動を続け、現在、動物看護師統一試験の実施主体となっている。本機構はこれまで培った経験を十分活用し、組織の改善を図り、愛玩動物看護師法に規定された、看護師の登録と国家試験の実施機関に指定されるよう全力で取り組む決意である。なお、本来であれば、両法律の成立に情熱をかけて奔走された北村日本獣医師連盟委員長が挨拶されるべきであるが、欠席のため、今回は代理としてご挨拶させていただいた旨挨拶が述べられ、祝賀会は閉会した。



図1 日本動物看護職協会
横田淳子 会長挨拶



図2 動物看護師国家資格
化推進委員会
山崎 薫 委員長挨拶



図3 動物看護師国家資格
化推進委員会
下藪恵子 副委員長挨拶



図4 日本獣医師会
藏内勇夫 会長挨拶



図5 原田義昭
環境大臣挨拶



図6 濱村 進 農林水産
大臣政務官挨拶



図7 中村裕之 文部科学
大臣政務官挨拶



図8 鈴木俊一 衆議院議員による乾杯の発声



図9 動物看護師統一認定
機構 酒井健夫 機構長
による中締め